

事業名	山梨県立図書館		
細事業名		財務コード	
担当部課室	教育委員会 部 社会教育 課 社会教育振興 担当 (内線)		

事業の概要

実施期間	始期 H24 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)・指定管理者		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民	図書、記録その他必要な資料が収集・整理・保存され利用に供されるとともに、交流の場が提供されている。	読書習慣が定着し、知識・教養の向上及び文化的活動の支援による県民文化の発展への寄与
事業の内容主にH26年度	1 図書の貸出、市町村相互貸借等(直営) 登録件数:65,064件 貸出点数:439,754点 2 研修(直営) ・子どもの読書活動推進スキルアップ講座「子どもと読書活動をつなぐ・連続講座」(全5回) 参加者:延べ229人 ・児童青少年サービス講座中級編(全5回) 参加者:延べ194人 ・「子どもの保護者への啓発事業」(NPO法人やまなし子ども図書館委託事業)(全12回) 参加者:延べ482人 ・図書館職員専門研修(全6回) 参加者:延べ155人 3 講演会・イベント等(直営) ・主催事業(計32回) 参加者:延べ3,024人 ・共催事業(計26回) 参加者:延べ2,502人 ・その他(計2回) 4 イベントスペース等の利用の承認及び一般の利用に供する事業に関する業務(指定管理者) 5 施設及び設備器具の維持保全に関する業務(指定管理者) 6 自主企画事業の実施(指定管理者) ・甲州軍団出陣を100倍楽しむセミナー「武田信玄と二十四将」& 子ども武者姿撮影会 参加者:50人 ・ファミリーワークショップ~日本の伝統芸能~ 参加者:108人 ・山梨活性化セミナー(政治・経済セミナー) 参加者:36人 ほか計15事業 参加者:延べ2,042人		
根拠法令等	社会教育法 図書館法 山梨県立図書館設置及び管理条例		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度		26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	蔵書件数	834,896点	854,896点	860,243点	880,243点	900,243点	目標設定の考え方 過去10年の実績から年間2万点増加を見込み設定 例年と同回数の実施を見込み設定 前年度実績を参考に設定 データの出典等 事業報告書、モニタリングシート	
	研修開催回数	28回	28回	28回	28回	28回		
	稼働率 (実利用時間数/利用可能時間数)	60.60%	60.00%	61.30%	60.00%	60.00%		
	活動指標達成率 (実績値/目標値)							
成果指標	入館者数	915,452人	500,000人	905,801人	900,000人	900,000人	目標設定の考え方 入館者数は新館開館の効果で大きく伸びたため減少傾向だが、前年度と同数を設定 前年度実績を参考に設定 データの出典等 事業報告書、モニタリングシート	
	交流エリア利用者数	98,907人	85,000人	115,198人	115,000人	115,000人		
	成果指標達成率 (実績値/目標値)							
	決算額又は予算額 (千円) うち一財額	412,126		437,776	436,085	421,211		成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	87,530 時間		85,450 時間	85,450 時間	85,450 時間			
所要時間(間接分)								
所要時間計	87,530 時間		85,450 時間	85,450 時間	85,450 時間			
人件費コスト 単位:千円 (@2,048円×所要時間)	179,261		175,002	175,002	175,002			

これまでの事業の見直し・改善状況

平成24年11月に新県立図書館が開館し、施設及び資料、環境の充実が図られた。 開館と同時に、指定管理者制度を導入し、施設の維持管理業務、イベントスペース等及び駐車場の利用の承認、総合案内業務等を委託し、民間のノウハウを活かした効率的かつ効果的な運営を行っている。
--

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定 H26年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること 蔵書件数や施設稼働率については、目標値を上回っており、また、研修開催回数についても例年と同回数を維持しており、予定どおりの活動量がある。
b		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H26年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること 入館者数及び交流エリア利用者数とも、当初の目標を大幅に上回る実績を維持しており、意図した成果はほぼ上げている。
a		

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の 判断項目
無	当初の目標を大幅に上回る入館者数を維持しており、利用者満足度においても意図した成果を上げている。 今後も引き続き県民に対する学習機会や交流の場の提供などを推進していきたい。	

・「以外の判断項目」の欄

a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: フロアの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の 判断項目
有	読書習慣の定着に向けては、蔵書を充実させるとともに、図書館で開催されるイベント等と連携して関連する本を紹介するなど情報提供を積極的に行い、また、幅広い読書ニーズへ対応するため、市町村や学校の図書館を巡回し相互貸出等の連携を更に強化する。 図書館の業務のうち、図書の貸し出しなどカウンター業務については、利用者から職員の常駐を求められていることから、利用しやすい環境に配慮しつつ季節や曜日、時間帯による業務量の変動に対応できる配置を検討していく。なお、カウンター業務のほか、講座の開催やシステムの運営管理、資料のデジタル化などのバックヤード業務があり、電子書籍やインターネット予約などの新しいサービスへの対応も必要となることから、全体として取り組むべき業務及び望ましい人員配置について、今後1年かけて検証していく。 交流エリアの利用料金設定については、図書館という公共施設としての性格から、利益を上げることを目的としての料金設定はできないと考えている。なお、交流エリアなどの会議室の利用料金は、施設の運営に係る維持管理費、人件費について、受益者に負担していただくこととして、その経費の全てを反映している。	b

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること	
実施方法等の変更	読書習慣の定着に向けて蔵書を充実させるとともに、図書館で開催されるイベント等と連携して関連する本を紹介するなど情報提供を積極的に行い、また、幅広い読書ニーズへ対応するため、市町村や学校の図書館を巡回し相互貸出等の連携を更に強化する。 また、図書館の業務のうち、カウンター業務について、季節や曜日、時間帯による業務量の変動に対応できる職員の配置を検討していくとともに、バックヤード業務や新しいサービスへの対応等を鑑み、全体として取り組むべき業務及び望ましい人員配置について検証する。	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

平成27年度 公共施設管理運営状況調査シート

施設名	10	図書館			
所管部課名	教育庁社会教育課	TEL	055-223-1770	Eメール	shakaikyo@pref.yamanashi.lg.jp

施設の概要
実績
利用者満足度
総合的な評価

< 関係資料 >

- 1 管理運営経費
- 2 組織図等
- 3 施設の利用状況

施設の概要

設置年月日(改築年月日等)	平成24年11月11日(移転)	
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して県民の利用に供することにより知識及び教養の向上を図るとともに、県民に交流の場を提供することによりその文化的活動を支援し、もって県民文化の発展に寄与する。	
所在地	甲府市北口2丁目8番1号	
設置根拠(法律、条例等)	山梨県立図書館設置及び管理条例	
敷地面積(所有者)	9,062㎡(山梨県)	
建物規模	鉄骨鉄筋コンクリート地上4階・地下1階 建物面積3,638㎡ 延床面積10,555㎡	
主な施設内容 (定員、部屋数等)	[1階] 児童資料コーナー(子ども読書支援センター)・新聞雑誌コーナー ボランティア活動室・視聴覚ブース [2階] 一般資料コーナー・山梨関係資料コーナー・レファレンスデスク サイレントルーム [3階] サイレントルーム・デジタル作業室 [地下] 書庫・貴重書庫・フィルム庫 図書館全体の座席数550席 サイレントルーム4室(144席)	
建設費等	・建設事業費(建設工事費・建設設計費・工事監督費等) 3,777百万円 ・備品整備費(家具備品整備費・家具設計費等) 608百万円 ・情報システム整備費(機器・ソフト経費 ICタグ装備 設計等) 281百万円 ・移転費 21百万円 ・駐車場整備費 81百万円 ・歩道屋根設置費 97百万円 ・図書特別購入費 220百万円	
利用時間・ 休業日	利用時間	平日:閲覧エリア 午前9時～午後8時・交流エリア午前9時～午後9時 土曜日・日曜日・祝日:閲覧エリア 午前9時～午後7時
	休業日	閲覧エリア ・月曜日(祝日の場合はその翌日)・12月29日～1月3日 ・教育委員会が必要と認める日(蔵書点検時等) 交流エリア ・年末年始 12月29日～1月3日
管理運営形態	・図書館運営業務は直営 ・施設の管理は指定管理者	
利用料金	・図書の貸し出し、閲覧エリア、サイレントルームの使用は無料 ・交流エリア、駐車場は有料(利用料金制を導入) 交流ルーム 100円～270円(1時間当たり) イベントスペース 2,720円～21,500円、多目的ホール 2,250円～7,510円 駐車場 30分 150円～ 図書館利用者は1時間まで無料	
県内類似施設の状況 (名称、施設内容等)	県内類似施設の有無: 市町村立図書館	

実績

1 運営状況

単位:人

区分	実績			前年度比			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	H24	H25	H25	H26
1 入館者数	404,510	915,452	905,801	226.3%			98.9%
2 貸出数	224,334	463,759	439,754	206.7%			94.8%
3 相互貸借数	3,283	9,959	6,402	303.4%			64.3%
4 図書館協力員活動状況	451	1,582	1,750	350.8%			110.6%
5 ホームページアクセス件数	140,452	282,775	288,234	201.3%			101.9%
6 調査相談件数	25,170	44,323	44,150	176.1%			99.6%
7 講師派遣数	19	33	26	173.7%			78.8%
8 交流エリア利用者数	49,496	98,907	115,198	199.8%			116.5%
9 交流エリア稼働率	-	61	61	-			101.2%
10 読み聞かせ参加人数	1,313	2,759	3,118	210.1%			113.0%
特記事項(1)							

2 収支状況

単位:円

区分	実績			前年度比			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	H24	H25	H25	H26
収入の合計	456,682	1,276,284	1,116,508	279.5%			87.5%
支出の合計	414,837,403	412,125,610	437,775,987	99.3%			106.2%
収支差額(-)	414,380,721	410,849,326	436,659,479	99.1%			106.3%
年間利用人員 (人)	404,510	915,452	905,801	226.3%			98.9%
利用者一人当たりの県費投入額 ((-) ÷ 2)	1,024	449	482	43.8%			107.3%
特記事項(1)							

1「特記事項」

実績値に大幅な増減がある場合、補足説明が必要な場合は、その内容を記載すること。

2「利用者一人当たりの県費投入額」の算出方法

利用者一人当たりの県費投入額 = (支出の合計 - 収入の合計) ÷ 年間利用人員
収支実績については、別添「関係資料」の各数値に基づき算出すること。

利用者満足度

1 実施時期・実施方法

実施時期 実施方法	実施時期:平成26年12月11日(木)～14日(日) 4日間 実施方法:図書館南北入り口で来館者にアンケート用紙を配布、館内各カウンターに回収箱を設置し、回収した。総配布数1,107枚、回収数579枚、回収率52.3%
--------------	--

2 実施結果

単位: %

項目	満足・十分 (やや満足・やや十分)	不満足・不十分 (やや不満足・やや不十分)	不明・わからない
所蔵資料の充実度	十分	不十分	わからない
	72.5	14.3	13.2
利用目的を達成できたか	十分	不十分	わからない
	90.7	3.1	6.2
レファレンスサービスの満足度	十分	不十分	わからない
	90.4	9.6	0.0
また利用(来訪)したいか	する	しない	わからない
	86.9	0.5	12.6
施設全体としての満足度	満足	不満足	わからない
	85.1	4.8	10.1
各項目の平均	85.1	6.5	8.4

3 結果分析

結果分析()	「所蔵資料の充実度」は満足との回答が7割程度となっているが、旧館で実施した平成23年度アンケートでは43%であり、充実度が大きく上がっている。新館開館に備えた図書資料の特別購入による蔵書の充実が評価されたと考えられ、利用者に十分満足していただけるような努力を今後も継続していく。 その他項目はいずれも85%以上と満足度が高いが、従来からのレファレンス(調査相談)サービス等の図書館機能に加え、立地の良さ、交流エリアとの一体的な利用等が総合的に評価されていると考えられる。
---------	--

満足度が低い項目については、原因と対応策を記載すること。

総合的な評価

1 施設所管課評価

評価	年間利用者数は、開館当初の目標50万人を上回る90万人以上の実績があり、施設全体の満足度についても85%以上の利用者が「満足」と回答している。利用者一人当たりの県費投入額も2年連続して500円を下回っており、効率的かつ効果的な運営ができています。
今後の方向性	今後も県民からのニーズや課題に迅速かつ的確に対応し、生涯学習や交流の場を幅広く提供するなど来館者へのサービスはもとより、市町村立図書館への支援、資料の収集・保存といった中核的な図書館としての役割を果たしていく。また、資料の効率的な活用のため、市町村立図書館等との収集・保存における役割分担を明確にし、専門性・学術性等を考慮した選書・資料収集を図っていく。

< 関係資料 >

1 管理運営経費及び年度間比較

(1) 収入

単位: 円

項目	H24年度	H25年度	H26年度	H26-H24	H26-H25
行政財産使用料	174,602	830,292	898,470	723,868	68,178
雑入	282,080	445,992	218,038	-64,042	-227,954
合計	456,682	1,276,284	1,116,508	659,826	-159,776

(2) 支出

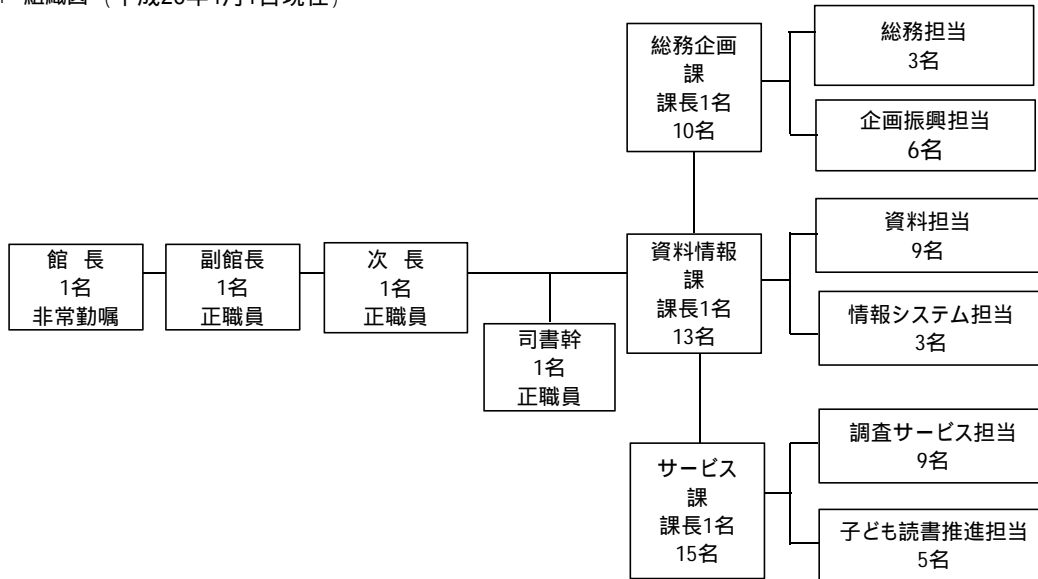
単位: 円

項目	H24年度	H25年度	H26年度	H26-H24	H26-H25
職員給与費	176,767,575	164,940,009	173,494,919	-3,272,656	8,554,910
職員共済費	23,897,333	21,935,702	23,438,613	-458,720	1,502,911
非常勤嘱託報酬	21,263,676	28,077,470	28,612,640	7,348,964	535,170
臨時職員賃金	10,960,660	3,116,204	3,568,169	-7,392,491	451,965
非常勤・臨時職員共済費	4,022,677	4,337,225	4,317,402	294,725	-19,823
報償費	1,460,000	1,726,300	1,182,000	-278,000	-544,300
旅費	1,146,076	885,984	1,185,793	39,717	299,809
需用費	18,379,962	9,647,681	16,199,747	-2,180,215	6,552,066
役務費	2,099,235	1,193,424	1,130,742	-968,493	-62,682
委託料	43,783,291	111,794,006	120,125,413	76,342,122	8,331,407
使用料及び賃借料	44,662,979	21,014,832	21,108,269	-23,554,710	93,437
工事請負費	0	1,144,500	0	0	-1,144,500
備品購入費	66,188,239	42,092,573	43,160,580	-23,027,659	1,068,007
負担金	176,900	190,900	216,900	40,000	26,000
公課費	28,800	28,800	34,800	6,000	6,000
合計	414,837,403	412,125,610	437,775,987	22,938,584	25,650,377

2 組織図等

県立図書館組織図(平成26年度)

1 組織図(平成26年4月1日現在)



館長	1名	民間	(非常勤嘱託)
副館長	1名	教育	(正職員)
次長	1名	行政	(正職員)
司書幹	1名	司書	(正職員)

総務企画課			
課長	1名	行政	(正職員)
主幹	1名	教育	(正職員)
副主幹	1名	司書	(正職員)
主査	1名	行政	(正職員)
副主査	1名	司書	(正職員)
主事	1名	行政	(正職員)
非常勤嘱託	3名		
臨時職員	1名		
計		10名	

資料情報課			
課長	1名	司書	(正職員)
副主幹	2名	司書	(正職員)
主査	1名	司書	(正職員)
副主査	1名	司書	(正職員)
主任	1名	司書	(正職員)
司書	2名	司書	(正職員)
非常勤嘱託	5名		
計		13名	

サービス課			
課長	1名	司書	(正職員)
副主幹	2名	司書	(正職員)
主査	2名	司書	(正職員)
副主査	3名	司書	(正職員)
主任	1名	司書	(正職員)
司書	1名	司書	(正職員)
非常勤嘱託	5名		
計		15名	

合計	42名
----	-----

3 施設の利用状況

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均	対前年比(%)	
					H24 H25	H25 H26
入館者数(人)	404,510	915,452	905,801	741,921	126.31	1.05
相互貸借数(点)	3,283	9,959	6,402	6,548	203.35	35.72
貸出数(点)	224,334	463,759	439,754	375,949	106.73	5.18
一般書	102,781	195,654	181,347	159,927	90.36	7.31
児童書	96,154	206,746	205,822	169,574	115.02	0.45
逐次刊行物	15,541	29,267	27,407	24,072	88.32	6.36
視聴覚資料	8,882	30,099	23,278	20,753	238.88	22.66
視聴覚機器	8	21	20	16	-	-
特殊資料(電子書籍)	487	836	715	679	71.66	14.47
特殊資料(その他)	2	57	76	45	2750.00	33.33
相互貸借	479	1,079	1,089	882	125.26	0.93
図書館協力員活動状況(人:延べ)	451	1,582	1,750	1,261	250.78	10.62
ホームページアクセス件数	140,452	282,775	288,234	237,154	101.33	1.93
調査相談件数	25,170	44,323	44,150	37,881	76.09	0.39
県内	25,142	44,244	44,104	37,830	75.98	0.32
県外	28	79	46	51	182.14	41.77
講師派遣数(人)	19	33	26	26	73.68	21.21
交流エリア利用者数(人)	49,496	98,907	115,198	87,867	99.83	16.47
交流エリア稼働率(%)	-	61	61	61	-	1.16
読み聞かせ参加人数(人)	1,313	2,759	3,118	2,397	110.13	13.01
複写サービス(件)	2,449	4,873	4,821	4,048	98.98	1.07
電子式複写	2,270	4,551	4,465	3,762	100.48	1.89
マイクロ複写	106	199	185	163	87.74	7.04
写真撮影	9	5	12	9	44.44	140.00
DB複写等	64	118	159	114	84.38	34.75
登録者数(人・団体)	30,652	20,732	12,308	21,231	32.36	40.63

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立図書館	所管課	社会教育課
所在地	甲府市北口2-8-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成24年11月11日
管理方式	指定管理者(山梨文化会館・甲府ビルサービス・NTTファシリティーズ共同事業体 平成24年11月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立図書館設置及び管理条例		
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して県民の利用に供することによりその知識及び教養の向上を図るとともに、県民に交流の場を提供することによりその文化的活動を支援し、もって県民文化の発展に寄与するため、図書館を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	閲覧エリア 交流エリア イベントスペース(476㎡ 定員497人) 多目的ホール(168㎡ 200人) 交流ルーム101、102、103、104、201、202(23～61㎡ 18～54人) 駐車場 153台		
主な業務内容	条例に基づくイベントスペース等及び駐車場の利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 イベントスペース等を一般の利用に供する業務 教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	甲府市立図書館 甲斐市立図書館など
---------------------	-------------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	イベントスペース	0	0	20,012	42,498	50,088
	多目的ホール	0	0	12,511	21,254	25,120
	交流ルーム	0	0	16,973	35,155	39,990
	利用者数合計	0	0	49,496	98,907	115,198
	目標値	0	0	0	85,000	85,000
	目標値設定の考え方及びその理由			利用者数についての目標値は定めていない。 (施設の稼働率予測は設けている)	前年度実績を踏まえて設定。	国民文化祭利用者約19,000人を除いた前年度実績を踏まえて設定。
	対25年度比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	116.5%
	稼働率	0.0%	0.0%	0.0%	60.6%	61.3%

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収 入	施設利用料	0	0	9,879,900	28,502,640	31,321,510
	指定管理者委託料	0	0	27,345,930	82,917,963	83,754,000
	その他	0	0	1,007,721	2,488,525	2,536,811
	収入合計(A)	0	0	38,233,551	113,909,128	117,612,321
支 出	人件費	0	0	13,754,750	36,179,895	37,339,315
	県への納付金	0	0	0	0	0
	管理運営費	0	0	22,435,522	68,072,766	72,077,331
	うち外部委託費(B)	0	0	7,803,600	28,092,755	30,115,427
	支出合計(C)	0	0	36,190,272	104,252,661	109,416,646
収支差額(A-C)		0	0	2,043,279	9,656,467	8,195,675
外部委託比率(B÷C)		0.0%	0.0%	21.6%	26.9%	27.5%
利用者一人当たりの経費		0.0	0.0	552.5	838.3	727.0

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期：平成26年4月～27年3月、実施方法：交流施設利用者へのアンケート、回答数：2,591人
-------	---

単位：%

調査項目	十分・満足・親切	ほぼ十分・ ほぼ満足・ほぼ 親切	不満・ 不十分・不親切	わからない
施設の充実度	81.6%	17.2%	0.3%	0.9%
設備の充実度	80.5%	18.3%	0.4%	0.8%
ロビーや通路(交流エリア)	80.2%	18.1%	0.5%	1.2%
総合案内・利用者窓口	85.1%	13.3%	0.2%	1.4%
サービス内容	79.9%	17.6%	0.4%	2.1%

調査項目	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満
施設全般の満足度	85.8%	13.8%	0.2%	0.2%

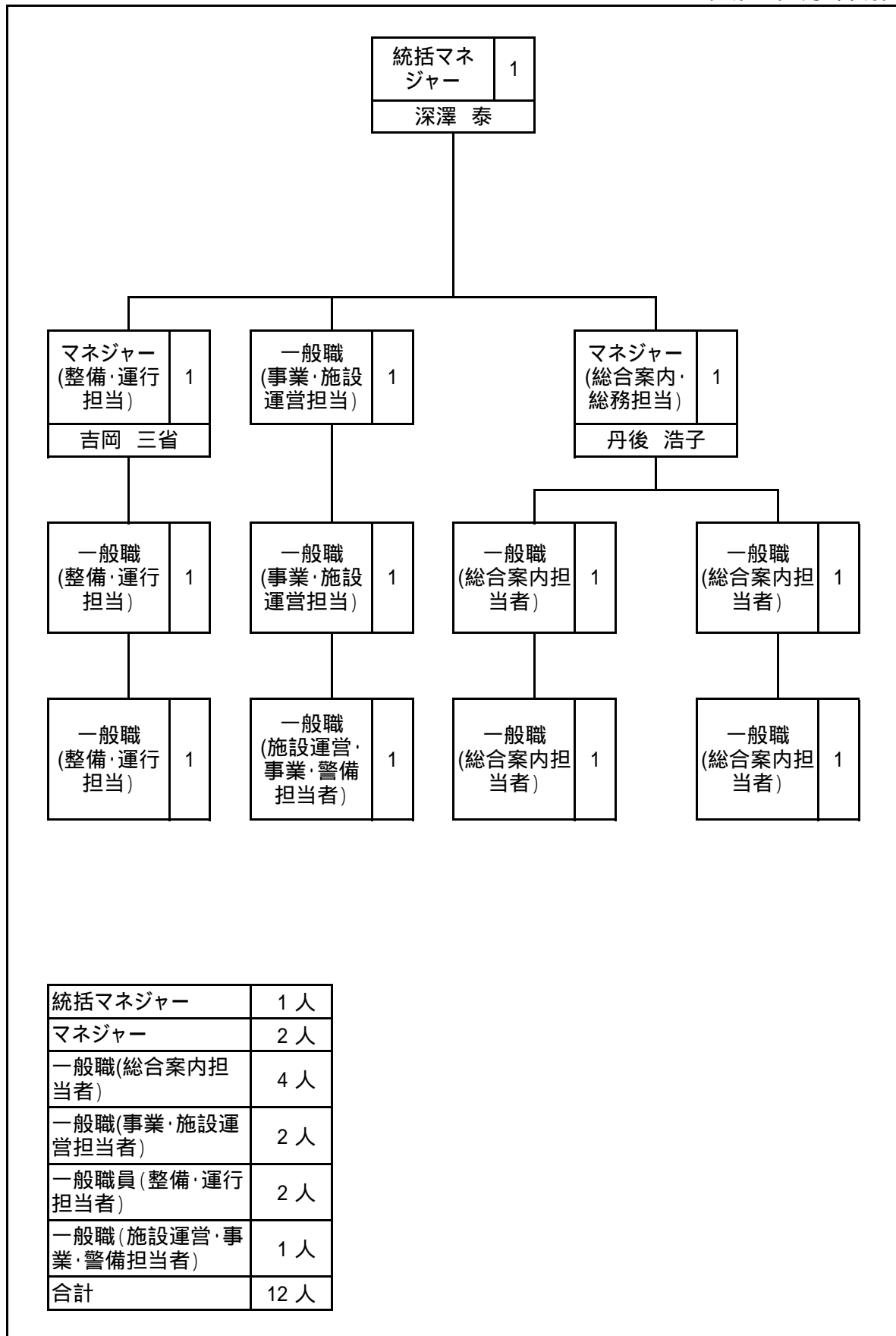
<p>利用者の意見</p>	<p>1 混雑開館時、入館で順番を守らない、横入りする利用者がいる。 2 入口に館内催し物情報の電光掲示板を設置してほしい。 3 空調をもう少し涼しくしてほしい。寒いので暖かくしてほしい。 4 駐車場混雑時にスムーズな出庫誘導をしてほしい。 5 駐輪マナーが悪いので定期的に整理してほしい。 6 大変便利できれいな施設なので気に入っています。よいサービスを期待しています。</p>
<p>利用者の意見への対応</p>	<p>1 正面入り口にパーテーションを用意し並んでもらったことで、開館時は順序良くスムーズに入館できるようになった。 2 総合案内にて一日の催し物を把握し案内している。お困りの来館者には、声掛けをするようにしている。 3 年間を通して省エネを考えているが、直接の指摘や、天気等にあわせて空調の設定温度は柔軟に対応した。 4 さらに出庫誘導の方法を検討するが、現状、混雑時にはスタッフ、警備員、守衛が連絡を取り合いスムーズな出庫誘導を行っている。 5 警備員・スタッフが巡回し、駐輪マナーについて口頭や貼り紙でお願いしている。不法駐輪の自転車には警告札を付け、約3カ月に1度撤去作業を行い駐輪スペースの確保に努めている。 6 さらに質の高いサービスを提供できるよう、総合案内スタッフ、運営スタッフの接客研修を行っている。</p>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、計画通り、適正に業務を執行した。施設も平成26年11月には2年が過ぎ、若干不具合も生じているが、修理補修対応等で、お客様には満足していただいている。今後も設備運用データを収集し、快適に利用できる交流施設を維持していきたいと考えている。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運營業務	総合案内は、お客様への挨拶を積極的に行い、交流施設の案内等も細かく丁寧に対応し、利用者には満足頂いていると考えている。駐車場では出口渋滞、機器のトラブル等にスタッフが迅速に対応した。交流施設の予約、貸出も利用者の要望に最大限応えられるよう対応し、満足頂いていると評価している。	業務計画書に基づき適正に実施されている。
自主事業	日本の伝統芸能や、映画を中心に展開するイベントなど、多彩な企画で、幅広く多くのお客様に参加していただいた。交流エリアでのにぎわいの創出に貢献できたと考えている。	事業計画書に基づき適正に実施されている。今後も工夫を凝らした事業の企画・実施に努めていただきたい。
利用状況	交流施設は115,198人が利用した。計画比135.5%と大きく数字を伸ばし、多くの人に利用してもらったと評価している。	引き続き多くの入館者を得る中で、交流施設においても目標を超える利用をいただいた。今後もさらなる稼働率アップに努めていただきたい。
収支状況	自主事業収入と、収益施設収入のカフェ、コピーが計画を割り込んだが、利用料金収入は数字を伸ばし、109.9%となった。支出合計は計画通りで、黒字経営を維持できた。	収入については一部計画を下回ったが、概ね良好である。今後も安定した運営を期待する。
利用者満足度	利用者アンケート集計結果では、すべての調査項目で、「十分・ほぼ十分満足」の合計が9割を超え、好評をえた。今後も利用者満足度の向上に向け、対応していく。	高い利用者満足度を得ているが、今後も引き続き利用者ニーズの把握に努め、さらなる向上を目指して欲しい。
運営目標の達成状況	イベントスペースの稼働率は実績(62%)が計画目標(60%)を上回った。交流ルームの稼働率は実績(65%)が計画目標(60%)を上回った。多目的ホールの稼働率は実績(57%)が計画目標(60%)に及ばなかった。なお、全体では61.3%で運営目標をクリアできたと考えている。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設の維持管理、運營業務等は協定書や事業計画書等に基づき、概ね適正に執行されている。注目度も高く、来館者数も多い中で、利用者満足度も高い結果となっている。引き続き利用者ニーズの把握に努め、さらなるサービスの向上と利用率向上に努めていただきたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	利用者ニーズをしっかりと受け止め、スピーディに対応するように努める。高い設定の運営目標に対し、交流施設の認知営業を行い、稼働率のアップ、利用者数の増加、利用者満足度の向上を目指したい。	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在



様式(外部評価対象施設)

今後のあり方等検討シート

	課題と見直しの方向性
県の施設としての必要性	<p>(国、市町村または民間の施設との重複はないか、市町村・民間等への移譲を検討したか、県が設置する個別の理由はあるか、廃止した場合の影響等)</p> <p>県立図書館は、平成20年9月に策定した新県立図書館整備計画に基づき平成24年11月に開館し、現在、県民の自主的な生涯学習活動の支援を行うため、市町村立図書館及び図書館未設置町村と連携し、中核的役割を担う県の施設として、県民が必要とする図書館サービスを今後も公平及び効率的に提供していく必要がある。</p>
管理方法	<p>(指定管理者制度の導入、業務委託、職員配置の見直し、利用料金の見直し等)</p> <p>県立図書館は、交流エリアとして、多目的ホール・交流ルーム等を設置しており、開館時から施設管理業務全般(施設設備の管理・点検・清掃・植栽・駐車場の管理等)及び運営業務の一部(総合案内・施設の貸出・交流エリアでの自主企画事業の実施等)に指定管理者制度を導入している。</p> <p>開館当初は職員数42人体制でスタートし、想定を大幅に上回る利用者等には臨時職員の任用など弾力的な対応により利用者ニーズ等に応えてきた。</p>
利用状況	<p>(利用者の増減理由、利用者増に向けた取組、利用者が少ない施設の根本的な改善策、利用者の意見を取り入れているか等)</p> <p>平成24年度の利用者数は11月開館だったため37万人であったが、25年度、26年度と90万人を超える結果となった。</p> <p>利用者増に向けた取り組みとしては、効率かつ効果的な運営及び利用者の利便性を図るため、定期的にアンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握するとともに、要望に応えられるような魅力的で専門性のある講座の開催や著名な作家を招聘した講演活動などのイベントを定期的に関催しサービスの向上に努めている。</p>
効率性	<p>(収支の状況・利用者1人当たりの経費の状況は効率的か、業務内容の効率性・経費の効率性から見て、改善の余地はないか等)</p> <p>利用者一人当たりの経費を削減するなど、運営面での効率化が図られている。</p> <p>施設全体としての満足度は85.1%であり、利用目的の達成度は90%を超える結果となっていることから、経費の効率的な執行を図る中で効果的な運営がなされている。</p>
社会環境の変化	<p>(当初目的は達成しているのではないが、事業量は適正か、県民ニーズの変化に対応しているか等)</p> <p>大人も子どもも読書をする機会が減少し、読書を通じて知識を得ることが少なくなっているなかで、人と本が出会い、読書の楽しさや読書によって豊かな創造力を育み、新たな知識を得る喜びを生み出す機会をつくること、県の中核的図書館として利用者のニーズに考慮した資料の収集保存を行い、地域の情報拠点としての情報資源整備に努めている。</p> <p>インターネットや電子書籍端末などをはじめとする情報通信機器の積極的活用により、様々な情報や知識を色々な方法で得ることができる新たな学習拠点として、さらに社会環境の変化に対応するべく成長する図書館として、県民のニーズに対応したサービスの提供を今後も心がけていかなければならない。</p>
その他の課題	<p>(老朽化の状況、改築の必要性等)</p> <p>県立図書館ならではの役割を考えた場合、県民のくらし、生活への支援のため行政機関・市町村立図書館・企業・商工会等、様々な団体との連携は不可欠であり、支援体制を構築する必要がある。</p>